



年頭のあいさつ

東川町長
松岡 市郎

皆さん、新年あけましておめでと
うございます。

昨年を振り返ってみますと何か北
海道の時代を迎えたことを予感する
年でありました。スポーツの分野に
おいては、駒大苫小牧高校が3年連
続甲子園の決勝進出を果たし、また
北海道日本ハムファイターズが北海
道移転3年目でリーグ制覇、ペナン
トを制覇し、急に北海道ブランドの
価値が上がってきたものと考えてい
ます。

農業では2年連続して豊穡の秋を
迎えることができ、特にお米は味、
質ともに大変高い評価を得ており、
日頃の農業者のご尽力が結実したも
のと慶んでおります。本町において
は忠別ダムが完成し、農業用水など
の安定確保、災害対策が進み、稲作
基盤がしっかりと整ってきておりま

す。

観光面でも、旭山動物園入園者と
の連携により、人々の動きは旭山動
物園、忠別ダム、大雪山旭岳へと一
層活性化することが予想されます。
近郊の市町とも連携し、誘客の純増
を目指すことができる明るさを感じ
ています。またアジア航空の定期
便就航により韓国への訪問が国内旅
行と変わらない圏域となりました。
チャーター便も数多く旭川空港へ就
航しており、アジアの人々との交流

観光も視野に入れなければならない
時代となってきました。まさに
農業や観光産業において北海道の時
代がやってきているものと考えられ
ます。

わが町が「写真の町」を宣言して
22年目で開催しました東京都写真美
術館での海外作家コレクション展や

13回目を終えました写真甲子園は多
くの方々から高い評価をいただき、
ありがとうございました。

大雪山の恵みは、私たちの様々な
活動に大きな役割を果たしてくれて
います。この恵みを生かし、北海道
時代の文化首都、特に稲作文化と写
真文化の首都は東川町であると胸を
張って誇ることができるように、住
民一人ひとりの積極的な行動によっ
て、目指したいものです。

また昨年は、旭川、札幌に続き、
東京にも「東京ひがしかわ会」が設
立されました。それぞれの会員の皆
様との連携により、口コミで「写真
の町」東川町の素晴らしさがより多
くの方々に伝わることを願っており
ます。

今年も「水を大切に使う生活」、
「ゴミを減らす生活」、「明るい挨拶
のある生活」、「交通安全が守られる
生活」、「美しい花で飾る生活」の5
つを重点に生活向上運動を展開して
まいりますので、皆様のご参加をお
願い申し上げます。

最後になりますが、2007年が
最高の年となりますようにご祈念申
し上げ、新年のご挨拶いたします。



年頭のあいさつ

東川町議会議員
石上 郁

新年明けましておめでとござい
ます。

輝かしい平成19年の新春をご家族
お揃いでお迎えになりましたこと
と、心からお慶び申し上げます。
また、町民の皆様には、日頃より
町政に対する高い関心と、町議会に
対しましてご理解とご指導を賜って
おりますことに、心から深く感謝を
申し上げます。

昨年は、全国的に幼児、児童が巻
き込まれる凶悪事件などが続発する
中で、滝川市のようにいじめ問題か
ら児童生徒が自らその命を絶つとい
う事件が全国で相次いで発生して、
教育問題が大きく取り上げられ、戦
後民主主義を支えてきた教育基本法
が制定されて以来59年目で初めての
改正がされることとなりました。

幸いにも本町では、そのような不
幸な事件・いじめ問題等は発生しな
かったものの、子供達をとりまく社
会環境が、より一層安全で安心ので
きるものとなるよう改めて問われる

こととなり、児童生徒への防犯や安
全確保対策と教育のあり方が重要な
感じさせられる年ではなかったかと
思います。

今日、私たちの社会は、未曾有の
激動激変の時代を迎えており、大都
市集中による地域間格差が大きくな
り、「地方」の自立の道は、大変に苦
難な道程になると思います。

地方の疲弊が一段と進み、町内の
農業や商工業、観光業は、総じて低
迷傾向を脱し得ない状況にある中に
あっても、いま本町では、恵まれた
自然環境を生かした個性的で新しい
地域振興の姿の確立を目指した取り
組みがすすめられています。安定し
た経済・社会基盤の上に立って、自
然や環境を大切に、ゆとりある生
活を送り、豊かな地域社会を創造し
ていくことが私たちの大きな願いで

す。今、地方自治体は、三位一体改
革や地方分権の大きな流れの中で、
大変厳しい環境にあります。行財
政改革の推進はもとより、自立と活



東川百景より「大雪山の清浄」松倉直樹

平成19年が、町民の皆さんにとり
まして、また東川町にとりまして
も、すばらしい年であることを祈
り申し上げます。年頭のごあいさ
つといたします。